

特別支援教育なう Vol.15

ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり
～学習プリントを用いた授業理解のサポート～

今回は「ユニバーサルデザインの視点に基づいた授業づくり」の番外編として『学習プリント』について取り上げます。

実際に多くの授業において、先生方の創意工夫が凝縮された学習プリント（ワークシート）が活用されています。学習プリントを活用することで、児童生徒のノートに書くという負担が軽減され、先生の話に集中でき、結果として授業の理解へとつながることが期待されます。

今回は、この学習プリントを昨年度の特別支援教育指導力向上研修の報告書の中から例を挙げ、ユニバーサルデザインの視点で整理していきます。



ポイント1 学習プリントの型（フォーマット）を整える（タイトル、Noなど）

例1のプリントでは「今日の目標（めあて）」が記載され、このプリントで何を学習するのかを明確に示しています。また、プリントには単元にそったタイトルを付け、それが教科書の何ページに対応しているのかを明記します。そうすることで、子供たちは教科書とプリントの対応が明確になり、どこを見れば良いのかがわかります。

化学基礎授業プリント No.25	
目標（めあて） 〈今日の目標〉 <u>「酸と塩基が、どういう物質かを理解する。」</u>	
○ <u>酸性と塩基性（教科書 P90～P91 を参考に考えてみよう）</u>	
酸性が示す性質	塩基性（アルカリ性）が示す性質

【例1 授業内容がわかるように型を整えているプリント】

補足になりますが、プリントの管理は「事前に穴をあける（ファイルに綴じる場合）」、「事前にノートより小さめにカットしておく（ノートに貼る場合）」というひと手間かけた配慮もプリントの紛失予防に効果的です。その際は、**授業の中で綴じる時間（貼る時間）を確保する**ということがポイントです。物の管理や整理整頓が苦手な子供たちに対して「後で綴じて（貼って）おくように」という指示を出すだけでは、教科書に挟み込んだり、机の引き出しに放り込んだりしてしまいプリントの紛失につながります。

また、プリントを紛失した場合も名前が書いてあれば見つかることもありますし、プリントに番号を付けていれば「プリントの○番がありません」と子供たちも申し出やすくなります。

プリントを使うと板書がしやすくなるんだけど、いろんな授業のプリントがごちゃまぜになって整理が大変なんだよね！





ポイント2 プリントの読みやすさと指示のしやすさ

例2のプリントではすべての漢字にルビを振ってあります。漢字を読むことが苦手な子供たちの支援としてルビを振ることはとても有効です。また、たくさんのカッコ()の中に『ア』や『イ』と符号を加えることで、()を区別できることもポイントです。

例えば「次の()の答えは〇〇」という口頭での指示は、子供たちにとってプリントの中のどの()を指しているのかわかりづらいものです。しかしながら、例2のプリントでは「カッコ『ア』の答えは〇〇」という指示ができ、プリントの中から子供たちはどの()か判断することができます。(板書で「(3) ①ア 〇〇、②イ △△」と書くともっと明確になります。)

文字をゴシック体にしたり、ルビと漢字の間をあけるともっと見やすくなりますよ！



1 □ 組織培養について次の問題に答えなさい。

() 植物は光合成を行うことで荷と荷をつくり出しますか。

(途中省略)

(3) 踏襲の芋類について以下の空欄を埋めなさい。

① 踏襲のフタに巻かれている(ア)をはずす。

② フタを(イ)で芋類にはずす。

漢字にはルビを振る

()を区別する符号

【例2 ルビを振ったり、()に符号をつけたりしたプリント】

一方で、子供たちの記入しやすさを追求するあまり、()ばかりの『穴埋め』形式のプリントも見受けられます。必要以上に親切なプリントは、子供たちの学習意欲を奪い、()を埋めることが目的となり受け身の姿勢になったり、()を埋めることで満足してしまう恐れがあります。

子供たちが主体的かつ能動的に授業に臨むには、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた「見やすさ」や「わかりやすさ」に配慮しながらも、授業の核心となる部分においては「思考の過程」や「自分の気づきや意見」などが記入できるような工夫も必要です。

このように、学習プリントの『ユニバーサルデザイン化』は子供の理解を助ける上で有効な取組です。その上で、チェックポイントをまとめておきます。

- プリントの型を統一して「見やすく」「わかりやすく」する。
→プリントと教科書及び板書等の対応を意識する！
- 理解を助けるような図やフローチャート等を取り入れる。
→視覚的な支援を意識する！
- 全体の余白を検討する。
→情報を詰め込みすぎずに、記入するための十分な余白を確保する。
- プリントの自己管理ができるような配慮をする。
→プリントの大きさの統一や紛失防止(保管)のための工夫を！！

こういう工夫があると僕たちも助かるなあ！



子供にとってわかりやすく、先生にとって教えやすいプリントを目指そう！